

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職場全体で理念の内容の理解を深め、理念の実践に向けた具体的な取り組みを話し合い、職員も参画の下進捗を確認しながら計画的に取り組まれることが望まれる。	職員の目標も明確にしたうえで理念の実践に取り組む	研修の機会を増やし、何の目的で何を目標にケアを行っているのか各職員が明確に理解する	6ヶ月
2	6	「身体的拘束廃止」「虐待防止」「権利擁護」「人権尊重・プライバシー保護」等、必要な項目については年間研修計画を立て、定期的・継続的に研修等を行い、職員が学ぶ機会を確保することが望まれる。	各職員で誰が行役を受けもっても同じレベルの研修が出来るよう知識とその理解度の底上げを行う	定期的・継続的に研修を行う 一定の職員ではなく、講師を持ち回りで受けもつ	6ヶ月
3	26	計画に基づいたサービスの実施状況が把握できるような記録の工夫が望まれる。月に1回程度は予防的な見地も含めて実施状況を確認し、定期的には3～6か月で計画の見直しを行うことが望まれる。また、見直しに当たっては、モニタリング・評価と共に、再アセスメントを行いサービス担当者会議で検討することが望まれる。	「計画」に終わらせず、「サービス」として実行できるように工夫する	計画とサービスが連動するよう記録の工夫をする ケアカンファレンスを有効に活用する	6ヶ月
4	49	利用者個々の希望にそって戸外に出かけられる機会作り、積極的に取り組まれることが望まれる。	戸外への外出の機会を増やす	職員の人数が充実する日、天候の良い日は積極的に声掛けを行い外出の機会を設ける 外出・外食のリクエストを募り実行する	3ヶ月
5	4	運営推進会議は、利用者・家族が外部者に意見・要望を表せる機会としての位置付けもあることから、より多くの家族の参加が得られるように、会議議事録の配布や掲示を行い、また次回開催日を伝達して参加を呼びかける等、運営推進会議への理解を深め取り組みが望まれる。また、可能な範囲で利用者の参加を呼び掛けてみてはどうか。	運営推進会議での議事を広く開示、反映し、真に開かれた施設を目指す	運営推進会議の議事録を職員にも開示し、また、掲示する事で誰でも閲覧できる状態にする	3ヶ月
6	35	予定通り、消防署の指導・助言を受け、夜間想定を含めた火災・災害を想定した実践的な避難訓練を年2回以上行うことが望まれる。運営推進会議等を活用し地域との協力体制を築くこと、また、食料や必要な物品を検討し備蓄することが望まれる。	実際に災害が起こった際に適切に行動できるような体制作りを行う	消防署の助言の下、3月10日に利用者も参加する避難訓練を実施 地域住民や隣接する施設とも協力する体制を確保する(次回運営推進会議にて)	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。